



# 広報のほろびっ

『毎月十日は防火の日』

火の始末 人にたのむな 任せるな



## 高松宮さまと

## 甯子さん来町

クマぞりも  
楽しまれる

高松宮さまと三笠宮甯子さんが二十四日登別町においてになり、カルルス温泉に一泊され、二十五日朝からカルルススキー場でスキーを楽しまれました。

この日は、べた雪の悪コンディションでしたが、甯子さんは、黒のスキースラックスに白の帽子とアノラック。また高松宮さまは薄紫のアノラックに身をつつみ、軽快な腕前で二時間にわたりスキーを楽しまれました。

午後より地獄谷に向い、岩倉町長の説明に熱心に耳を傾け、地獄谷の景観に魅了されました。

このあとケーブルに乗ってクマ牧場へ行き、牧場内に放し飼いでいるクマの群れにびっくりなされ、また楽しみにしていたクマぞりにお乗りになって、楽しさがいっぱいという表情で、来町二日間の日程を終りました。

# お知らせ

## 身体障害者登別分会 総会について

次の日程で総会を開催しますの  
で出席ご希望の方は地区の理事さ  
んまたは、役員住民課へお申込み  
下さい。

開催日時 四月二十四日  
午前十時より  
開催場所 生活館

## 予防接種について

春の予防接種の日程、要領につ  
いては三月号の広報で一部お知ら  
せ致しましたが、その後、町内会  
長さんを通じて各家庭に接種要領  
をお知らせしたとおりです。該当

される方は必ず受診して下さい。  
なお、配付もれのあるところ  
は、最寄の支所または、役場衛生  
課へお申出ください。

## 課の位置が変りま した

四月一日より次のように課の位  
置が変りました。

税務課の室の一部に水道課が移  
り、水道課のあとに衛生課が移り  
ました。また住民課の一部に住民  
相談の室を設けました。

## 戦歿軍人に叙勲の 伝達

先月に続き去る三月三日、第三  
回目の伝達式が行なわれました。  
勲記、勲章が贈られた方は次の  
とおりです。

鷲別	故 平島豊作(旭七)	遺家族 母 ナカ
富浦	故 平 胞一(旭七)	遺家族 母 タリ
〃	故 林 一彦(旭八)	遺家族 母 ハナ
来馬	故 伊比 保(旭八)	遺家族 父 音治
登別	故 佐藤義儀(旭八)	遺家族 妻 ツヤ
〃	故 半田 寿(旭八)	遺家族 父 権作
〃	故 助川千秋(旭八)	遺家族 母 トク
〃	故 鈴木光雄(旭八)	遺家族 母 ゲン
富士鉄社宅	故 津田一義(旭八)	遺家族 弟 治男
規別	故 弘田泰敏(瑞八)	遺家族 弟 洗

# 火災をなくし

## 生命や財産を守ろう

四月二十日から五月三十一日まで 火災予防運動

春は火災となる最も恐しい季節  
です。火災はちょっとした油断や  
不注意で、尊い生命や大切な財産  
を失っています。

◎空家などは子供の遊び場となり  
危険です、戸締りを厳重にする。  
火災警報は次のよう  
なとき発令します

月別	湿度	最少	最大
四月	七二%	五五%	六六%
五月	七二%	五五%	六六%
六月	七二%	五五%	六六%
七月	七二%	五五%	六六%
八月	七二%	五五%	六六%
九月	七二%	五五%	六六%
十月	七二%	五五%	六六%
十一月	七二%	五五%	六六%
十二月	七二%	五五%	六六%

◎ゴミ焼きの時必ず消防に届出る  
◎子供の火遊びをさせないよう。  
◎ストロブ、煙突、コンロなどの  
周囲、上部を整頓し毎回点検す  
る。

吹流	吹流	吹流	吹流
吹流	吹流	吹流	吹流
吹流	吹流	吹流	吹流
吹流	吹流	吹流	吹流

## 町史編さんシリーズ

# 白老回顧座談会

## 登別温泉会場

石川 郵便鉄道  
からようやく電  
車になりました  
が、その電車も  
動力が少なかった  
め、止ねを得ず  
発電機を二台に  
増しました。そ  
れでもなお不足  
で、ときどき電  
車をとめて辛う  
じて温泉まで上  
ってきました。

志賀 秋吉さん  
がハヤカマ馬車  
の御着をしてい  
たころ、何か危  
険なことはありませんでしたか。  
秋吉 あります。湯本館の前でお  
客さんを降ろしたまま馬車を止め  
ていると、何かの拍子で車が動き  
出すことがあります。それであわ  
てて止めようとしても、下り坂だ  
し馬も勢いよく走り出してなかな  
か止まらないので、たまたま道路  
の真ん中で子供が遊んでいたりと  
すると、それを轢きそうになっては  
らねらうことが度々でした。

吉田 四十数頭も獲ったことがあ  
ります。  
秋吉 そうですね。木地屋さんが  
たくさん獲りました。  
吉田 いいえ、ハツバです。  
秋吉 狐がやはり一番多かったで  
すね。家の軒下に大根を干してお  
くと、翌朝すっかり荒されていま  
した。

日野(謙一) 大量に湧いていま  
す。中登別の停留所の横の池の後  
です。  
秋吉 アイヌ語で「清水の湧くど  
ころ」という意味ですから……。  
日野(鼻) 神威若という地名は、  
北海道のあちこちにありますがね。  
秋吉 そうすると水の湧くところ  
があるのですか。  
石川 いい水があります。

お説  
先号で名前の誤りがありました  
ので、次のとおり訂正します。  
南(南) 吉吉  
南(南) 吉吉  
南(南) 吉吉

吹流	吹流	吹流	吹流
吹流	吹流	吹流	吹流
吹流	吹流	吹流	吹流
吹流	吹流	吹流	吹流

◎警報発令と同時にサイレンを吹鳴します。  
◎発令信号は2回連続鳴し、解除信号は1回  
吹鳴します。

火の使用制限  
警報を発令したときは、火の使  
用制限があります。  
(1)山林原野などの火入れをしない  
(2)煙火を消費しないこと。  
(3)屋外のたき火または引火性、爆  
発性の物品、その他可燃物の付  
近で喫煙をしない。  
(4)火、取灰または火粉の始末。  
(5)室内での裸火を使用するとき、  
窓出入口などを閉じて行なう。

# 交通安全に となりぐみ運動

めまぐるしく増加する自動車により最近交通事故が激増しております。

室蘭署管内交通事故の現状をみると、昭和三十九年中に四四九件発生し、そのうち死亡者三一人、重軽傷者は四一〇人、昭和四十年は五二二件発生、そのうち死亡者三九人、重軽傷四七七人と増加の一途をたどっております。また登別町の各地区の事故発生を時間別

計	地区別・時間別発生状況(40年)												
	カルルス	温泉町	中登別	富浦	登別	来馬	欽山	川上	千才	幌別町	富岸	登別町	地区
30	0	6	4	3	2	0	1	2	1	2	0	9	7~12
31	2	3	0	4	1	1	0	6	0	4	1	9	13~17
31	0	2	1	0	2	3	0	5	2	4	4	8	18~21
18	0	0	1	0	1	1	0	3	0	1	4	7	22~6
110	2	11	6	7	6	5	1	16	3	11	9	33	計

にみると別表のとおりです。

このような悲惨な交通事故を絶滅するためには、全町民が一体となって安全運動を着実に実践していかねばなりません。そのため町交通安全推進委員会では、運動を押し進めるため、特に町内会、部落会、となりぐみなどに、交通部や交通班を設け、まず隣人から交通事故を起さないよう家庭や町内のすみずみまでよびかけております。

なお、となりぐみ運動結成の進め方については、当推進委員会でご指導致しますのでお問合せ下さい。

## 狂犬病予防に 野犬掃とう実施

四十一年度第一期

野犬掃とうは

四月一日から三十日まで随時各処で行ないます。

予防注射は

日程(四月分)

四日(十時~十二時) 上鷺別、内田商店前

五日(九時三十分~十四時) 素前

六日(十時~十四時) 役場前

七日(九時三十分~十四時) 幌別生活館

**今月の納税**

**軽自動車税** (全期)

四月十五日より四月三十日までです。必ず納期限内に納めましょう。



四月十五日より四月三十日までです。必ず納期限内に納めましょう。

八日(九時三十分~十二時) 津村商店前

九日(十時~十二時) 欽山、長内商店前

十一日(九時三十分~十四時) 富士鉄住宅分室前

十二日(十一時~十二時) 富浦保育所

十三日(九時三十分~十四時) 登別支所

十四日(九時三十分~十二時) 登別温泉支所

十五日(九時三十分~十二時) はまなす団地

十六日(十一時~十二時) カルルスオロフレ荘前

指定した場所で行なった時二

三〇円、その他往診、指定場所以外で行なった時、一件につき一〇〇円加算になります。

畜大登録は

更新の場合 二〇〇円

新規の場合 三〇〇円

## みんなてろって 防犯活動

毎日のように犯罪が発生し、殊に近年青少年の非行が増発の傾向にあります。

犯罪は社会の敵であり、いかなる理由でも絶対に許せません。

犯罪や非行を予防し、町内からこの悪を追放し、明るい住みよい街をつくるためどうしても町内が

一体となって自主防犯活動をする

ことが必要です。

この対策として、町内で補導体制を整え、子供の行動に注意と関心をもって、温い態度で善導し、

お互い協力して防止にあたるよう

にしたいものです。

次のことを参考に計画、実施をお願いします。

一、町内会

◎防犯部の設置 ◎共同夜警の実施 ◎街灯の増設 ◎犯罪予

防の知識の普及(懇談会を開く等) ◎防犯PR活動 ◎要所に防犯ベル、連絡所の設置

二、一般家庭

◎留守の際は必ず施錠し、近所に依頼

◎就寝時は特に戸締りをよくして刃物は台所におかず片づける

◎婦女子の夜の外出は避け、暗い道を通行しない。

三、被害の届出励行

多少にかかわらず必ず警察に。

四、青少年の補導

◎夜間町内パトロール中補導夜間うろうろしていると問題を起す危険性があります。

これを発見したときは注意を与え帰宅させ、又集団で暴動が不審

のときは警察に、昼間学校に行かずうろうろしているのを発見した

ときは注意を与え、または、学校に通報。

## (愛のランドセル寄贈)



新入生活時期を迎え、去る二月十一日新生活保護世帯に対し、登別ライオンズクラブより皮製のランドセル二十四箇が寄贈されました。

## 美 挙

榊中二年E組一同 一、〇〇八円  
コーヒーバー・ルイ 五五五円  
カルルス温泉同志会三三、〇〇〇円  
打川運蔵 五、四二二円  
小森敏夫(富士鉄住宅) ランドセル一個  
西尾和久(宇来馬)一〇、〇〇〇円

## 町の人口

(二月末現在)

男 二〇、二一一人  
女 一九、七二一人  
計 三九、九三二人  
世帯数 一〇、一二六世帯

# 事情説明書

## 町財政のおしらせ

登別町昭和40年度各会計の予算執行状況について公表いたします。

昭和40年度におきましては全国的に前年度より引続いた経済界の景気停滞の影響を受け、地方財政は極めて逼迫した状態が続きましたが、当町では町財政の運営に当り、經常的行政費の大幅節減に努め、事業費充当財源の確保をはかり、住民福祉の上に緊急欠くべからざる事業の実施を積極的に推進してきたところであります。

本年度の重点事業として、し尿処理施設新設、道路橋梁整備、公営住宅建設、小中学校増改築、高等学校道立移管整備、漁港の開発整備、消防署発足および消防施設整備、登別温泉上水道拡張、登別国際観光会館増築等、町民の生活に直結する問題の解決および教育文化の向上、並びに産業開発、観光開発を推し進め、私の町政執行の基調である、「行政水準の向上と諸施設の充実強化」により明るく住みよい町づくりに、努力した次第であります。

今後も行政内容をより検討し、財政運営の合理化と効率化に努め町民の皆さんへの奉仕を強化する所存でありますので、町政に対するより一層の御理解と御協力をお願い致します。

昭和41年4月

登別町長 岩倉誠一



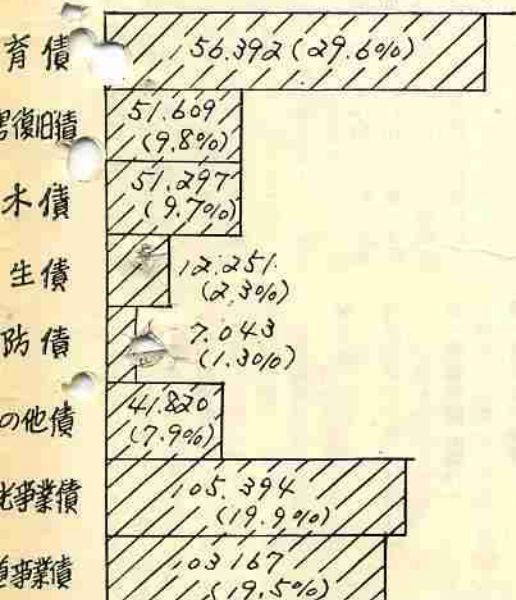
## 町債の状況

(41.2.28 現在)

額 528,973千円

民1人当り 13,248円

世帯当り 52,239円 (単位 千円)



## 町有財産の状況

(41.2.28 現在) (単位 千円)

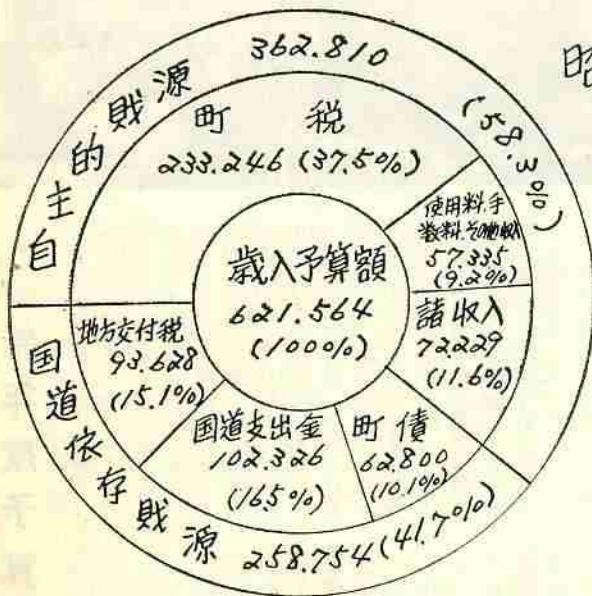
区 分	数 量	金 額	
土 地	学 校 敷 地	370,300㎡	513,640
	宅 地	16,880	35,749
	山 林	1,534,500	479
	そ の 他	585,117	133,585
地 計	2,506,797	683,453	
建 物	学 校	34,384	352,330
	公 営 住 宅	8,156	110,652
	そ の 他	17,589	311,966
物 計	60,129	774,948	
金 員	証 積 立 付 金		24,147
	債 貸 付 金		34,828
	そ の 他		22,512
	計		845
合 計		1,540,733	

人 口 39,927人

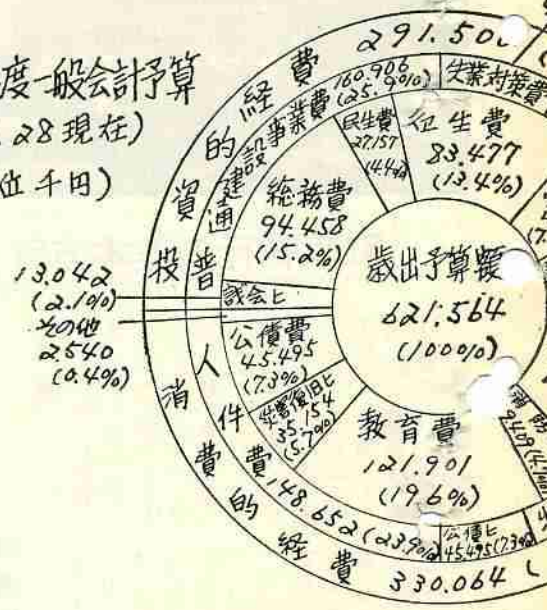
世 帯 数 10,126世帯

(41.2.28. 現在)

# 登別町財政



昭和40年度一般会計予算  
(41.2.28現在)  
(単位千円)



## 昭和40年度各会計予算執行状況

(41.2.28現在)

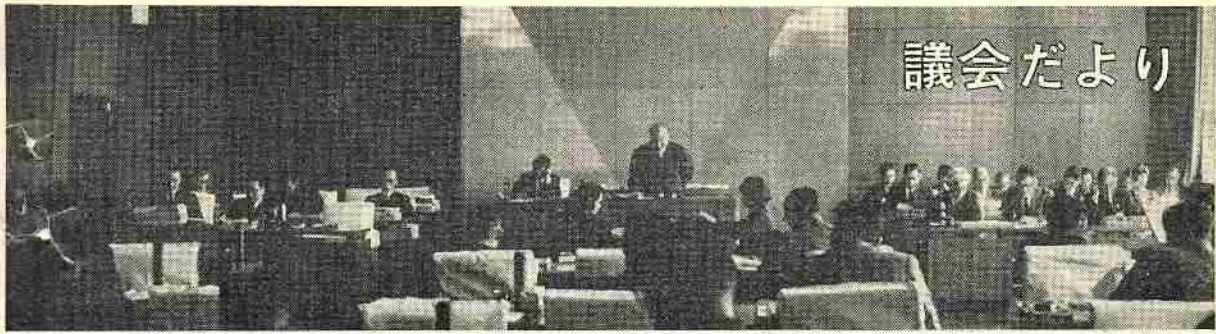
### 一般会計

歳入		予算額	収入済額	率 %
町税		233,246	205,576	88.1
国有提供施設等所在市町村助成交付金		50	66	132.0
地方交付税		93,628	93,708	100.1
分担金及負担金		2,241	2,045	91.3
使用料及手数料		20,670	17,112	82.8
国庫支出金		73,024	53,265	72.9
道支出金		29,252	5,876	20.1
財産収入		20,970	6,460	30.8
寄附金		4,053	2,947	72.7
繰越金		9,401	14,881	158.3
諸収入		72,229	11,633	16.1
町債		62,800	13,900	22.1
<b>歳入合計</b>		<b>621,564</b>	<b>427,469</b>	<b>68.8</b>

歳出		予算額	支出済額	率 %
議会費		13,042	11,458	87.9
総務費		94,458	79,007	83.6
民生費		27,157	23,651	90.8
衛生費		83,477	68,874	82.5
労働費		46,985	42,618	90.7
農林水産業費		19,582	13,790	70.4
商工費		40,274	38,476	95.5
土木費		62,090	57,979	93.4
消防費		29,409	23,404	79.6
教育費		121,901	110,221	90.4
災害復旧費		35,154	7,743	22.0
公債費		45,495	34,724	76.3
諸支出金		2,240	2,240	100.0
子備費		300	0	0.0
<b>歳出合計</b>		<b>621,564</b>	<b>514,185</b>	<b>82.7</b>

### 特別会計

会計別	区分	予算額	歳入		歳出	
			収入済額	率 %	支出済額	率 %
国民健康保険特別会計		47,313	34,052	72.0	34,595	73.1
上水道特別会計		165,630	46,268	27.9	49,970	30.2
観光事業特別会計		142,785	53,986	37.8	98,890	69.3
<b>計</b>		<b>355,728</b>	<b>134,306</b>	<b>37.8</b>	<b>183,455</b>	<b>51.6</b>



# 議会だより

## 新年度予算きまる

第一回定例議会は、昭和四十一年度予算などを審議するため三月十日より九日間にわたって開かれました。十日は町長の町政執行方針と昭和四十年年度各会計補正予算を審議、十一日は昭和四十一年度予算説明と提出議案に対する説明が行なわれ、十二、十三日は休会、十四日は町政に対する一般質問、十五日から十七日まででは全員委員会を開いて予算、議案を審議し、十八日は本会議で全員委員会審議議案の議決と追加議案および協議案が審議され、いずれも原案どおり承認可決しました。

その主なものは次のとおりです。

- ◎特別会計条例の一部改正  
清掃事業と学校給食事業の二会計が設定され、特別会計が五つになりました。
- ◎へき地保育所条例の設定
- ◎隔離病舎設置条例の設定
- ◎学校給食センター条例の設定

また、新年度は、一昨年来の不況の長期化・深刻化により、今後の経済の見通しは、必ずしも楽観を許さない情勢にあります。したがって、地方財政も、負担の増加ならびに、大中減税に伴なう減収など、かつてない困難な事態に直面していると申しても過言でないと思えます。この不況克服のため、全町民が真剣になって対処すべき年であろうと思っております。

## 予算の概要

### 農業施策

酪農を主体とする有畜集約農業を奨励し、生産性の向上を図るため農業諸団体の指導育成に積極的に対応したいと存じます。

### 水産業の振興対策

沿岸漁業の振興と漁家経済の向上に、一層の努力をいたし、漁港の整備、防波堤の修築などについて、関係機関に対し、早期実現のため努力いたしたい所存であります。

### 商工業の振興対策

工場適地を、工場誘致対策の基本資料として、国と共に調査研究を行なうほか、中小企業の育成対策として、低金利による健全融資の道を開き、制度資金の公平な運用に留意してゆきたいと存じます。

## 予算編成の重点

### 積極健全財政を

#### 長期財政計画に立脚して

新年度における町財政は歳出面におきましては小・中学校々舎の整備、道路、側溝の整備、給与改訂および物価騰貴による経常経費の増加など、かなりの増高が見込まれる一方、歳入面におきましては、国税の減税不況による影響などにより、町税、地方交付税の伸び率は鈍化し、前年度に引続き、急迫を告げているのが実態であります。

## 活気に満ちた登別町の建設へ

### 将来に明るい希望を

(概要)  
私は、町長に就任以来、常に町民が「明るく豊かな生活」を営むことができる町づくり

に、不断の努力を重ねてまいりましたが、この目的達成のため、今後、更に行政水準の向上を図り、全町民が将来に明るい希望をもてる、活気に満ちた登別町建設のため、新たな決意と情熱をもつ

- 一、経済振興と開発事業の推進
- 二、教育文化の向上
- 三、住民福祉

の所信を明らかにしたのであります。新年度もこの基本方針を堅持いたしまして、四万町民が、ひとしく「明るく平和な生活」を営むことができよう、あらゆる努力を傾注してまいりたいと存じます。

したがって、新年度の予算編成に当り、しては、長期財政計

画に立脚した、積極的な健全財政を建前として、当面する重要施策の実施については、重点的に財源の投入を図るなどのほか、次のような基本方針で、予算編成を行なつた次第であります。

- 一、需用費等消費的経費は、必要最少限度にとどめる。
- 二、人件費の増嵩を極力おさえる。
- 三、学校施設の完全補修と、道路側溝の技術的整備
- 四、清掃事業と学校給食事業を特別会計とする。

物価問題につきましては、商工会および町内の小売業者と、婦人会など消費者側との、物価問題に対する懇談会などの機会を設けてまいりたいと存じます。

観光施策

不況などにより、観光収入も減少を余儀なくされていまして、これらの状況下にあつて、いかにして観光客を誘致するかが焦眉の問題であります。観光地開発の基本方針を受け継ぎ、積極的施策をもつて臨んでまいりたい所存であります。また観光資源の開発、施設の整備についても、フレッシュな感覚と構想のもとに当つてまいりたいと存じます。

土木行政

道路と側溝の整備を最重点とし、橋梁の整備、河川の改修、沿山治水および海岸保全、住宅対策などの諸工事を重点的に行なつてゆきたいと存じます。

教育施策

校舎などの整備を重点施策とするほか、教育施設の充実、育英制度、社会教育に対する助成と中学校PTAの公費負担の軽減を図つた次第であります。

社会福祉

民生援護関係諸団体に対する助成、その他、低所得者階層などに対して必要な措置を講じ、民生の安定に資する所存であります。

労働対策

失業対策事業、勤労者の融資対策を樹て、勤労者の経済生活の一助といたしました。

衛生施策

住民の健康管理をより増進するため、各種予防対策費、老人健康診断、乳幼児検診などに要する予算計上を行なつた次第であります。

国民健康保険特別会計

厚生省などにより国民健康保険税の引上により収支の均衡を図るよう示唆されているところであり、被保険者の現状からして現行税率で予算計上を行なつたところであります。その運営は、まことに容易ならざるものがあり、健全なる運営のできる会計とするよう抜本的な検討を加える必要があろうと考えます。

上水道事業

四十一年度をもつて、登別温泉上水道拡張工事が完成いたしましたので、受益住民の増加を積極的に行なうとともに、他の上水道施設についても、地域の発展に即応した配水管の拡張を計画し、健全なる企業会計となるよう一層の努力をいたしたいと存じます。

消防施策

署員の増員、防火水槽および消火栓の新設を計画し、不測の事態に備えるべく配慮したほか、器材器具の充実を図り万全を期した次第であります。

歳入の概要

町税につきましては、現行税率をもつて計上し、予想される自然増収分については、可能な限り見積りいたしました。

地方交付税につきましては、前年度の実績などにより試算し、交付可能と見込まれる額を計上いたしました。

国、道補助金ならびに町債につきましては、地方財政計画に基き可能な限度において計上いたしました。

その他の歳入につきましては前年度の実績などを勘案の上、見通し得る収入について計上し、収支の均衡を図つた次第であります。

むすび

以上で、新年度における施政の方途および各会計予算について概要を申し上げましたが、この執行に対処いたしますとともに、町民のための、公正にして真摯な態度で行ない、全町民の信頼にこたえられるよう、一層の努力を重ねてまいる決意であります。

般質問

問 都市計画事業が遅れることは区画整理事業の場合、立退きなどの困難が伴なう。もっと積極的に進めるべきかと思うが。

答 区画整理は、住民の協力がなくてはできないので、ぜひ協力をお願いしたい。さし当つて本年度は、幹線街路を実施したいと考えている。

問 町税について減税する考えはないか。

答 地方税法の改正により、町民税については基礎控除額、扶養控除額が引上げになるので、減税になる。

問 紅葉大橋は、登別温泉にとつて関連性が薄いのではないか。

答 登別温泉への交通量を緩和するため、バイパス道路として、また産業開発に伴なう産業道路として利用価値が大きいと思ふ。

問 登別温泉市街の道路の混雑を緩和するため、車の駐車場を設ける考えはないか。

答 温泉市街の道路は、車道と舗道を区別する段階に來ていると思う。電話線を地下ケーブルにする計画があるので、若干広く使えるようになるが、北電にも働きかけて電柱の撤去により、なお一層道路が広く使えるようにしたい。また、将来は駐車場を拡張して、道路に駐車をさせない方針を進めてゆきたい。

問 幌別地区は、耳鼻科、眼科などの病院がなくて不自由をしているが、総合病院を建設することはできないか。

答 町立病院の建設は、町の財政では非常に困難である。将来は、国立病院の誘致運動を促進したい。

問 本年度は宅地造成に対する予算が見られないが。

答 不景気によつて影響するところが多いため、本年度は予算措置を行なわなかったが、中登別の上水道建設を契機として、景気の動向を眺めながら進めたい。

問 登別町の警察力の増強を図つて、警察署を設置することはできないか。

答 以前から関係方面に強力に接してきたが、若干増員を見た程度であるので、今後は早期実現するように努力してゆきたい。

問 青少年の非行化について、最近かなりの数の青少年が補導されているが、これに対する対策はどうか。

答 青少年の教育は、学校、家庭ともに大切な問題で、教育委員会でもカウンセラー制度をおいて、民生関係の担当員と連絡をとりながら、かなりの実績を挙げているが、今後も充分意をもちたい。

41年度 一般会計、特別会計歳出予算額

(単位千円)

会計名	41年度予算	40年度予算(当初)	増減	伸び率(%)
一般会計	623,286	575,850	47,436	8.2
特別会計	975,445	920,713	54,732	5.9
計	1,598,731	1,496,563	102,168	6.8

ことしの予算のあらまし

学校や道路側溝の整備など

教育文化の向上と住民福祉の推進

新年度の各会計別の予算額を昨年度と比較してみると別表のようになります。

これによりますと、一般会計の予算総額が昨年度より四千七百四十三万六千円増えています。

また特別会計は五つの会計を合わせ昨年より七百二十九万六千円増えています。

また特別会計は五つの会計を合わせ昨年より七百二十九万六千円増えています。

また特別会計は五つの会計を合わせ昨年より七百二十九万六千円増えています。

また特別会計は五つの会計を合わせ昨年より七百二十九万六千円増えています。

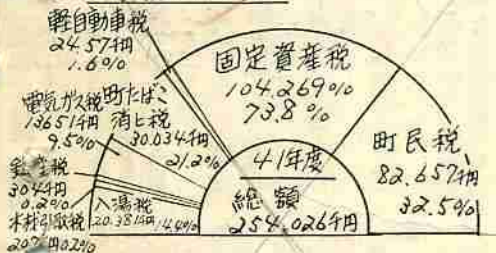
主要事業

町財政は昨年に引続いてことしも窮乏を告げておりますが、四十年一度の予算編成の基本方針としては健全財政を保つため、経常経費の節減、不急事業の抑制により、町民に直結する事業として、特に道路改良および側溝整備また小中学校の補修などに昨年の数倍の予算をとり、生活環境の整備、住民福祉の増進を目標にしております。

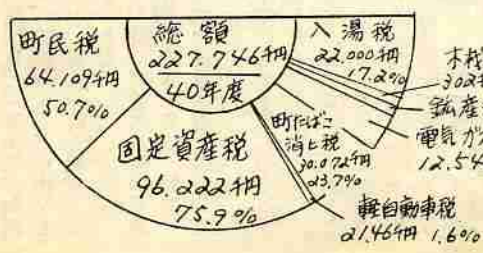
各会計予算に計上されているおもな事業はつぎのとおりです。

- ▽一般会計
  - 民生費
    - 防犯灯設置費助成、登別生活館建設工事、母と子の家建設工事
    - 富士鉄幼児クラブ増築工事、登別温泉幼児クラブ増築工事助成金
  - 衛生費
    - カルルス地区雑用水施設助成金
  - 労働費
    - 失業対策事業、勤労者特別融資積立金
  - 農林水産業費
    - 札内農道新設事業、並型魚礁設置事業補助金、登別漁港修築事業負担金
  - 商工費
    - 登別温泉公衆便所新設事業、オロフレ峠レストハウス新設工事
  - 土木費
    - 常盤通側溝新設事業、第三上懸別橋新設工事、紅葉大橋新設工事、北駅前造成事業、公営住宅建設工事、町道改良および側溝整備事業(総額一五、一九〇千円)
  - 消防費
    - 防火水槽設置工事、消火栓の増設
  - 教育費
    - へき地育員住宅建設事業、登別中学校増築およびプール新設事業、小中学校置屋根および床補修工事(総額二、八四六千円)
  - 災害復旧費
    - 農地農業用施設災害復旧事業、土木施設災害復旧事業
- ▽特別会計
  - 上水道会計
    - 登別温泉上水道拡張工事、幌別・登別上水道配水管拡張工事
  - 観光会計
    - 町営スキー場整備

町税の内訳



町税の内訳



一般会計歳出費目別内訳

